

2025 年 2 月 21 日

デフアスリートの未来を照らす！ 公平に競技へ挑める環境整備を

「スタートランプと世界を繋ぐプロジェクト デフ陸上教室 in ドミニカ共和国」

デフ陸上競技の普及および振興を図る一般社団法人日本デフ陸上競技協会（横浜市、代表理事：佐藤将光）は、「スタートランプと世界を繋ぐプロジェクト」にて、ドミニカ共和国にスタートランプを寄贈することとなりましたのでお知らせいたします。当協会スタッフ他計 6 名がドミニカ共和国を訪問し、デフ陸上教室など現地の方々との交流を通じてスタートランプの魅力を発信するとともに「東京 2025 デフリンピック」の機運醸成を図ってまいります。

来年 11 月に開催される「東京 2025 デフリンピック」では、スタートランプの使用が公式に認められ、すべての陸上競技種目で採用される予定です。この大会を契機に、スタートランプのさらなる認知向上・各国での導入が進むことが期待されています。当協会も世界普及に向けた取り組みを本格化、その第一弾として、ドミニカ共和国にてスタートランプ寄贈式&デフ陸上教室を実施する運びとなりました。同プロジェクトが立ち上がったのは、同国で活躍する Melenciano Christopher（メレンシアーノ・クリストファー）選手（前回デフリンピック「カシアス・ド・スル 2022」男子 200m 金）の一言から。同選手が日本で初めてスタートランプを使用した際に革命的な装置だと絶賛、「ドミニカに持って行きたい。子どもたちに使って欲しい！」と熱望したことが始まりです。聴覚障害のあるアスリートや、スポーツに打ち込む子どもたちが公平に競技に臨める環境を整えていきたいとの想いが原動力となり、形になりました。

デフ陸上競技の普及及び振興を続けてきた当協会はスタートランプで世界を繋ぎ、誰もがスポーツを楽しめる・同じ条件で競技に挑める未来の実現を目指してまいります。



【佐々木選手・クリストファー選手】

「スタートランプと世界を繋ぐプロジェクト デフ陸上教室 in ドミニカ共和国」

派遣期間：2025 年 2 月 23 日（日）～3 月 1 日（土）

派遣国：ドミニカ共和国

参加者：山岸亮良（事務局長）、竹見昌久（事務局次長・スタートランプ開発者）、
廣瀬芽里（国際手話通訳）、和田弘江（広報）、佐々木琢磨選手（※）、
三浦宏之（カメラマン・榎プラスヴォイス）

日程：2 月 23 日（日）日本発

24 日（月）ドミニカ共和国着～Hogar del niño（ろう学校）付近ホテル泊

25 日（火）午後：デフ陸上教室（Hogar del niño）、付近ホテル泊

26 日（水）午前：Santo Domingo へ移動

escuela nacional para sordos 訪問/RIZEK CACAO 訪問/Conversatorio 開催

27 日（木）デフ陸上教室・スタートランプ寄贈式（nacional para sordos）

28 日（金）ドミニカ共和国発

3 月 1 日（土）日本着

（※）「世界デフ陸上競技選手権大会（2024）」男子 4×100m リレーにて大会新記録、「カシアス・ド・スル 2022」男子 100m で金

【本件に関するお問い合わせ】一般社団法人 日本デフ陸上競技協会 事務局
e-mail: office@j-daa.or.jp TEL: 045-620-9465 FAX: 045-620-9475























